



れる金融機関として存在する鳥取信用金庫。鳥取県東部を中心に、県中部から兵庫県但馬地域にいたるエリアを18店舗でカバー。本店ロビーにはジオパークの名所パネルが掲示され、本部ビルの壁面には懸垂幕が掲示されている。

また、全職員の名刺にロゴマークを入れている他、通帳には地層をイメージしたデザインを採用した。ジオパークエリアを歩くイベント「ジオウォーク」は第1回目から協賛しており、5回目となる今年も従業員約40人がスタッフとして参加。「とりしんサポーター」として絶景スポットでの写真撮影サービスや、給水サービスなどを実施した。

ジオパークを活用した事業、

商品開発、設備投資を行う地元企業を金融面で支援しようと、「山陰海岸ジオパーク ビジネスローン」の取り扱いも行ってきている。ビジネスマッチングなどの相談を受ける窓口「山陰海岸ジオパーク活用相談窓口」も設置しており、ジオビジネスの総合的な支援にも乗り出している。

こういった取り組みが評価され、2012年には全国信用金庫協会が実施する「第15回信用金庫社会貢献賞」の特別賞を受賞した。地域に根差した活動を続ける信用金庫を顕彰するため創設された賞で、「自然の恵みを大切にして次世代に受け継



「山陰海岸ジオパーク」応援

この街に生まれ、この街に生きる。1950年の創業から一貫した経営理念で地域経済を支え続ける鳥取信用金庫は、山陰海岸ジオパークを自然が生んだ「地域の宝」と位置付け、世界認定前の2008年からさまざまな形で応援を続けている。「とりしん」と言えば山陰海岸ジオパークと言われるほどに浸透しており、2012年には社会貢献賞、2013年にはPRコンクールで全国表彰を受けた。

中小企業や個人事業主の「潤滑油」として地域の発展に寄与しながら、地域住民から親しま



ぐとともに、地域の活性化を図ろうとする取り組み」などと評価された。

また2013年6月には、鳥取砂丘や海岸をバックに子どもたちの笑顔を載せたポスターが「信用金庫PRコンクール」で最優秀賞を受賞した。支援を続ける「山陰海岸」と「子育て」を「地域の宝」と位置付け、二つの宝を守り未来につなげていくという企業理念を表現した。

山陰海岸ジオパークはエリアが拡大され、今秋には世界認定の再審査が行われる。地域社会の一員として、「地域の宝」を守るため、さらに活動に力を入れていく方針だ。

社会貢献活動「鳥取信用金庫」の事例

代表者のコメント

理事長 藤本英興さん



当金庫は鳥取県と兵庫県北部に支店網を展開しており、同じエリアでもある山陰海岸ジオパークに大きな関心を寄せ、地域貢献活動としてさまざまな形で応援しています。山陰海岸は地域の宝、郷土の誇りです。未来につなげるため、これからも支援を続けていきます。

鳥取信用金庫

- 〈概要〉 ●所在地:本店・鳥取市栄町645
 ●代表者:藤本英興
 ●創業:1950年8月21日
 ●職員数:233人
 TEL 0857-23-2411 FAX 0857-29-9600
 ホームページ <http://www.tottori-shinkin.co.jp>

